

第2回 JUDI パブリックデザイン賞

■ 開催趣旨・選考結果

■ 受賞作品



JAPAN URBAN DESIGN INSTITUTE

第2回 JUDI パブリックデザイン賞

開催趣旨・選考結果

1. 趣旨

都市環境デザイン会議（JUDI）は、2014年をもって設立24周年を迎え、1993年から始まったモニターメッセも23回を数えます。その間に発表された製品等は300例余り、参加企業数も100社近くに上ります。

この間に発表された製品の中には、今日都市環境デザイン製品のスタンダードとなったものも少なくありません。また、JUDI会員の作品も数多く整備されてきました。しかし、都市デザインや景観に対する社会的な関心が高まる一方で、社会や経済環境の変化に伴い、国や自治体のまちづくりや景観事業も減少し、関連する製品メーカー、施工業者も厳しい状況にあります。

このような状況を踏まえ、2010年に都市環境デザイン、パブリックデザインの向上に貢献している企業・団体等の活躍を社会に広め、もってその取組みを支援することを目的に、その活動や実績を顕彰する「JUDIパブリックデザイン賞」が創設されました。

2. 表彰対象

① 都市環境デザイン、パブリックデザインの向上に寄与した以下のものとします。なお、表彰対象はあくまでも「製品」、「空間」であり、設計者、施工者、製造者等を対象とするものではありません。

- 1) 製品部門：舗装、照明、柵、緑化、ストリートファニチャー等の製品（既製品、標準品、特注品等）
- 2) 空間部門：ポケットパーク、歩車道、施設内空地等の空間

② 表彰の対象は施工事例があるものに限定します。

③ JUDIパブリックデザイン賞は、製品部門から「製品賞」、空間部門から「空間賞」を授与します。

この内、特に都市環境デザイン、パブリックデザインの向上に多大な貢献をしたと評価されるものを「大賞」とします。

この製品賞、空間賞の他に、各ブロックの地域性や魅力を引き出したものについて「ブロック賞」を授与することとしました。また、社会的意味の高いもの、今後の展開が期待できるもの等について、必要に応じ

て選考委員が認めたものを「審査委員特別賞」として顕彰することとしました。

3. 選考方法

パブリックデザイン賞の選考は、事業委員会の中に「選考委員会」を設けて行いました。選考委員は、JUDIメンバーの中から建築、土木、造園、パブリックデザイン等の専門家に依頼し、選考会議における討議によって各賞を選定しました。

- ・募集期間：平成26年4月～平成26年7月
- ・パブリックデザイン賞選考会議：平成26年9月30日
選考委員長：須田 武憲（事業委員長）
選考委員：横川 昇二（東京工科大学）
高見 公雄（法政大学）
天野 光一（日本大学）
角野 幸博（関西学院大学）



選考会議風景



須田委員長



横川委員



高見委員



天野委員



角野委員

4. 選考結果・講評

■製品部門・大賞

●U字溝用スリット蓋ボーダースリット・

センタースリット・バーチカルスリット

応募者：カネソウ(株)／石川 文和

ボーダースリットは境界部の課題を解決しているし、センタースリットはスリムさに配慮されている。いずれも機能を十分保証しながら、上部の空間を邪魔せず心地良い空間となることを保証している。蓋を見て称賛する人は少ないかもしれないが、このような装置こそまさに良い空間づくりのための縁の下の力持ちとあって良からう。



■空間部門・大賞

●浜甲子園さくら街

応募者：関西大学／江川 直樹

連続する羊羹型住棟にどう変化をつけるか。スカイラインへの配慮と住棟間のスリットによって、六甲の山並み景観を居住者にプレゼントした。地区内道路の沿道景観にも表情がある。浜甲子園団地の建て替えは今後も継続するが、このデザインが再生団地全体の規範になりつつあるとすれば、その功績は大きい。



■製品賞

●避難誘導システム

応募者：ヨシモトポール(株)／丸山 浩二

津波などの避難誘導サインは、同じ自治体や地区のなかでもデザインや様式がばらばらのことが多い。観光客などの来訪者に対しては、緊急時に情報が伝わりにくい。誘導表示を統一するとともに、街並み景観にもマッチしたデザインが求められるが、本製品はこうした課題に十分に対応できるものと評価する。



●瓦舗装材 瓦コンクリート@サイエンスヒルズこまつ

応募者：(株)エコシステム／高田 実

地産地消というコンセプトで、瓦生産拠点から排出される瓦の再利用を実践して、舗装材として再生している点がまず素晴らしい。瓦の多孔質の特性を利用した保水性を持ちながら、風合いのあるテクスチャーと温かみのある落ち着いた色彩が親しみを感じさせる空間を創り出しており、とても好感が持てる作品である。



●奈良県 奈良公園 観光案内板

応募者：(株)コトブキ／山室 浩一

本作品はコストを抑制しつつ、地域アイデンティティの表現することをテーマとしている。部品の共通化、モジュール化、システムの共通化等による低廉化とそれを踏まえながら色彩やグラフィックデザインで奈良らしさをうまく表現しており、コストと意匠のバランスの取れた秀作と評価した。



●Float Floor system 1.関西外国語大学 2.山田中学校

応募者：日本興業(株)／藤田 浩暢

建築の外部床面に二重床を形成するためのシステム

ム床である。表面の遮熱性能による日射反射効果と建築との間の空気層により、防音断熱効果を発揮することと、水勾配のある場所でも完全に水平な床を形成できることが特筆される。精度感の高い空間の形成を可能とし、利用範囲はとても広いと思われる。今後道路など土木分野への応用も期待したい。



日本興業(株)
藤谷 康 氏

■空間賞

●煉瓦倉庫周辺・夜間景観整備

応募者：(株)LEM空間工房／長町 志穂

煉瓦倉庫のライトアップというとやや食傷気味の感もある。だからこそデザインセンスのガチンコ勝負が求められた。影絵デッキやガラスベンチ等、来街者の行動を誘発する工夫もある。地区のオリジンであった煉瓦倉庫を、照明デザインによって神戸ハーバーランドのヒロインに返り咲かせた。

※長町氏は授賞式欠席のため後日授与

●INAKAイルミ@おおなん2013 (2010,2011,2012)

応募者：(株)LEM空間工房／長町 志穂

過疎集落を元気にするためのライトアップである。ライトアップによって、もともと有していた景観の力強さに気付く住民がいる。ほとんど費用をかけられないプロジェクトに全力を傾けた関係者の心意気を評価する。関わった住民の経験とパワーが、高齢化と人口減少の圧力を押し返すことができるか、応援し続けたい。

●旧北上分流施設群（脇谷水門、鴉波水門）

応募者：(株)プランニングネットワーク／岡田 一天

治水安全性の命題のもと、大規模かつ標準的な土木設計を行い、命題に応えるだけという施設整備から大きく方向転換されたものと言える。当初計画は古い施設との脈絡なく大きな水路を切る計画であったようだが、そこにこの



(株)プランニングネットワーク
伊藤 登 氏

設計者や関連する専門家の提言により土木史的意義などを踏まえ、旧施設を活かしながら命題に応え、そしてデザイン的にも洗練されたものとしていく。出来上がりの姿はすっきりし、かつ土木施設としての力強さがある。水門の色彩は強いように思う人もいるかも知れないが、強い表現全てを否定することがデザインではない。強い施設には強い表現もまたありうるだろう。

●金沢駅西広場

応募者：(株)国土開発センター／新田川 貴之

駅前広場といえば、敷地の中央部にゆったりとバスやタクシーの回転軌跡を満足する車道をまず設計し、残った部分に中途半端な幅の歩行者空間が残る、という景色に誰もが馴らされ過ぎている。そんなひどい（失礼！）広場を普通



(株)国土開発センター
森川 大輔 氏

に思っている。金沢駅の西側に広がる市街地は、大規模な区画整理事業、県庁の移転など、20世紀に力をいれて作られた街だ。その駅前広場が完成を迎えた。自動車交通の処理機能は消える訳ではないから、歩行者動線と交差することはしようがないとして、広場の中央を歩行者が使える広場がやっとできた。さらに各部のデザインは金沢のまちにふさわしく丁寧で和のテイストを感じるものである。全体構成、細部の詰めまで優れたデザイン例と言えるだろう。

■ブロック賞

●阿波しらさぎ大橋（徳島東環状大橋）導流板

応募者：(株)住軽日軽エンジニアリング／富岡 仁計

導流板で、風対策、光害対策の二つに対応している。まさに一つの形で複数の要請にこたえる「デザイン」として良い。欲を言えば、しらさぎ橋でもあるので、導流板自体のデザインの自己主張がもう少しあっても良かったかと思う。



(株)住軽日軽エンジニアリング
藤野 保夫 氏

●やまびこの家（目神山地域住民集会所）

応募者：関西大学／江川 直樹

これはやや変わり種の受賞作である。場所は西宮市の古くから高名な高級住宅地の中、それも開発に伴う調整池の上部空間である。地域の集会所を作りたいが場所がない、またフェンスに囲まれ、殺風景な調整池をなんとかしたい、という課題を一気に解決すべく、調整池の上に集会所を建てた。市からの補助はもらっているが、多くは地域住民から集めた資金で、である。建物はセンス良く、内外ともに軽快で、住宅地景観に良い刺激を与えている。残念ながらフェンスは元のままだ。いずれこれを何とかすれば、当初の目的に沿ってより良くなるだろう。



リッド構造というのならば、もっとスチールを感じさせるデザインもあったのではないかとも思う。

●TOKYOLIGHTS Four S For S

応募者：前橋工科大学／松井 淳

本作品は、現在の日本の街路灯の中で考えるかぎり最も高品質で最も精度が高いと思う。アルミ押し出し材の支柱にガラス張り、中にLEDが仕込まれ、まるで精密機械のような佇まいでありながら、形態はごくシンプルで昼間は主張することなく、街にとけ込んでいる。しかし夜は表情が一変しガラス支柱のライン状の光が銀座のネオンサインと一体となって街に賑わいを創り出す。



●横断防止柵およびサポーター [越谷型]

応募者：(有)ユー・プラネット／栗原 裕

「越谷型」と銘打ったからには、越谷市で今後も使われていくのであろう。第一印象は少々ゴツイな、と思った。斜の部分は良いのだが、縦のメンバーが集中する部分がある。鉄だから重そうだし、それが近接して何本もあるものだから、ゴツイな、と思った。しかしながら申請書を見ていくうち、緊急車両対応で着脱できるなど、機能的な要請もあるらしい。そう思ううちに、鉄でしか出せない重厚感が優勢となってきた。重そうだが、頑丈そうとも言える。斜の部分は軽快である。川口市で製作されているという地域性も勘案し、ブロック賞として評価したものである。



●新潟駅南口駅前広場

応募者：(株)住軽日軽エンジニアリング／富岡 仁計

既存の長大な駅舎の前面にデッキと大きな庇を付け加えることで、古い駅舎のファサードを改変することなく、全く新しいイメージを創り出す事に成功しており、駅舎から駅前広場に至る動線もかなり改善されたことと思われる。バスシェルターもバスの寄り付き動線を考慮した屋根形状としており、乗降時の快適性が高いことが想像出来る。構造物により空間を一変させた好例といえよう。



■特別賞

●シェルター [越谷型]

応募者：(有)ユー・プラネット／栗原 裕

歩道側、車道側のシェルターを高さ、幅を変えながら同じものと感じさせる、スッキリとしたデザインとなっている。ただ、アルミとスチールのハイブ

●近鉄菖蒲池駅 駅前広場 シェルター・サイン

応募者：(株)コトブキ／山室 浩一

遊園地時代とは違って変って、落ち着いた雰囲気を出す駅前ロータリー。広い空の下にのびやかに広がる建物群の水平ラインを意識したかのような、スレンダーで水平線を強調するシェルター。どんな場所にも適合できる



ニュートラルでシンプルなデザインなのだが、生まれ変わった菖蒲池の環境にうまくマッチしている。

■グッドエイジング賞

●唐木田ガーデンロード

応募者：(株)高橋建築都市デザイン事務所／高橋 志保彦

竣工は1991年。設計者はjudi立ち上げ時の主要メンバーである。当時先端をいくデザインであり、その実現に際し警察対応には大変な冒険をして実現したもの。時間を経て傷んだり、汚れたりといった印象はなく、整備から10年、20年を経て行われた住民ヒアリングにおいても好評であり、樹木は育ちますます素晴らしい空間となっている。緑が豊かなので、維持管理が大変ではと思えば、管理者からは特別な維持管理はしていないが、住民と協調しながら良い環境が保たれているとのこと。これはまさに、「グッドエイジング賞（空間）」だろうと審査員一致の意見を見たものである。



●河津バガテル公園

応募者：(有)ユー・プラネット／栗原 裕

初めて訪問した時、何故ここにバガテル公園なのか、プチトリアノンなのか、パリの現地にも行った身としては非常に不思議に感じた。しかし、10年ほどたって再訪した時は何故かこれで良いのだと感じた。まさに本物に近いデザインが時代を経てなじんだものといって良からう。



製品部門・大賞

U字溝用スリット蓋ボーダースリット・ センタースリット・バーチカルスリット

製造者：カネソウ(株)



「ボーダースリット」は、排水口となるスリット部を敷地境界際ぎりぎりに設置できるよう、受枠側面のフラット化に注力しました。敷地境界側においては、受枠側面から固定部材が境界線より外側に飛び出ないように、プレート状の金具と六角穴付き止めねじを採用し、フラット化を図りました。

よりスリムなスリットを目指して、「ボーダースリット」ではスリット幅100mm、「センタースリット」ではスリット幅60mmとしました。また、スリットを細くした分、排水能力が低下しないよう、一般的にはスリット蓋の両サイドを通し材で受ける構造を、スリット蓋と直交方向数箇所受ける独自の構造とし、開口面積の確保を行いました。

スリット蓋の跳ね上がりやガタツキ音の発生、盗難防止のために、ロック機構を装備しました。一般的なス

リット（グレーチング）のロック方法は、スリットの一部のバーを切り欠き、その部分で六角ナット等を締め付ける構造としますが、スリットの連続的な意匠が崩れます。これに対して、スリットの隙間からドライバーを挿入し、スリット蓋の裏側のロック金具でスリット蓋を固定する構造を採用し、意匠の向上を図りました。

設置される場所の舗装材など周囲の質感・色調に応じてスリット蓋が選べるよう、スリット蓋の材質はステンレス、スチール+溶融亜鉛めっき、鋳鉄の3タイプを設定しました。（30頁：モニターメッセ参照）

舗装空間の美観を崩さないU字溝用スリット蓋の掃除口です。

メンテナンスの作業性が向上
ボーダースリット・センタースリット設置部において、一定期間で掃除口を設けていただく事で、後のメンテナンスが容易になります。U字溝の開口幅全量を開放できる構造です。

スリットの素材は選べる3タイプ
スリットは、ステンレス製、スチール製、鋳鉄製の3種類を設定。設置地の美観に合わせて選べます。

ボーダースリット用・センタースリット用
用途に応じておタイプを設定。スリット部を片側に寄せたボーダースリット・スリット部をセンターに配置したセンタースリット・用途に応じて2つの素材をラインナップ。

設置が簡単
長柄はU字溝にボルトで固定するだけで、簡単に取付けでき、工事が簡単です。

U字溝幅は50、180、240、300、4サイズです。

U字溝用スリット蓋のラインナップ。

敷地境界際に適します。



同一舗装区内での排水に適します。

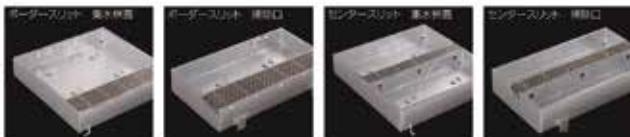


建物の出入口に適します。



集水樹用蓋・掃除口用蓋。

ボーダースリット、センタースリットには、各タイプに集水樹用の蓋および掃除口用の蓋をオプションで取付可能。美観を損ねず、盗難防止と統一したデザインで、美しく保つことができます。



空間部門・大賞

浜甲子園さくら街

事業者：（独法）都市再生機構・西日本支社
 設計者：（独法）都市再生機構・西日本支社、他



浜甲子園団地は、敷地面積31万㎡、150棟、4,613戸の住宅に約1万人が暮らす関西でも有数の大規模団地であるが、その再生にあたっては、郊外型の団地から、都会的な多様性・機能性を備え、広く地域との一体感のある住宅市街地へと、新たなまちづくりを目指すこととし、敷地の再編と併せて、新しい形での積層集合住宅コミュニティの形成が目標とされた。

建て替えによる再生第1期エリア（877戸）では、継続してこの地に住まれる戻り入居住民の、豊かな生活環境の実現にとどまらず、周辺を含む環境の再整備を促す、美しい住宅地景観の創出、愛着の持てる日常生活が結果的にもたらす美しい生活景観、地域住宅地環境の実現を目指し、「タウンスケープをつくる団地再生」をテーマとして、特に＜親街路性＞や＜親空性＞の実現をめざして進取的な取り組みがなされ、入居住民、旧団地内住民のみならず、地域住民や社会からも高く評価され、愛される、気持ちの良い住宅市街地環境が実現している。



写真1：低層部とその上のペントハウス状の部分を明確に分け、さらにその上に細い塔状の高層住棟を配し、空と親しい（親空性）タウンスケープを創出



写真2：バス通りには中低層住棟を配し、奥に細い高層住棟を分散して塔状に混在させている



写真3：中層住棟と高層住棟が混在し、横に暴力的に空を切り取るのではなく、浜甲子園独特の美しい気持ちの良い空と親しいタウンスケープを創出



写真4、5：道路沿いにはアクセスの可能な専用庭を配し、住宅毎の個性と生活感の表出する安心安全で楽しいタウンスケープのまちなみ、空間を創出



写真6：近辺の人も通り抜ける中庭



写真7：既存樹木を残した中庭



写真8：通路沿いに降りてくる屋外階段



写真9：同左 人気を感じるディテール



写真10：中庭側通路に軸を振って配された小さな自転車置き場



写真11：専用庭の立面



写真12：沿道にも面し出入り可能な集会所



写真13：同左の住戸玄関

写真14：沿道のピロティ



写真15：上部と明確に分かれた低層部の構成 夕陽に浮かぶ沿道型都市住宅



写真16：多様な南ファサード景観

中層スケールの街の表情づくり

●建物の集合住宅の構成に色とりどりの階層を設けて上下を明確に区別

●小さく分割したユニットが隣り合っても居る感を生み出す



図7：MAガイドライン - 中層スケールの街の表情づくり

製品賞

防災型避難誘導システム

避難誘導システム

「避難誘導システム」は、地震や災害から迅速な避難を促すために、LEDや無線を駆使した避難誘導を行うシステムです。機能別のLEDや無線の組み合わせ、設置に際しては建築家や設計士と連携して設計を行います。

1 レール式ジョイント

本製品のジョイントは、LEDや無線の設置、調整が容易で、LEDや無線の交換も簡単です。また、LEDや無線の交換も簡単です。また、LEDや無線の交換も簡単です。



2 無線搭載

本製品の無線搭載機能は、LEDや無線の設置、調整が容易で、LEDや無線の交換も簡単です。また、LEDや無線の交換も簡単です。また、LEDや無線の交換も簡単です。



3 LED搭載

LED搭載機能は、LEDや無線の設置、調整が容易で、LEDや無線の交換も簡単です。また、LEDや無線の交換も簡単です。また、LEDや無線の交換も簡単です。



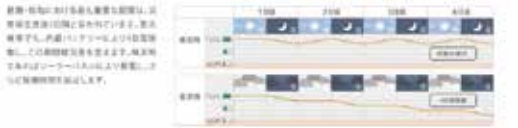
LED搭載機能は、LEDや無線の設置、調整が容易で、LEDや無線の交換も簡単です。また、LEDや無線の交換も簡単です。また、LEDや無線の交換も簡単です。



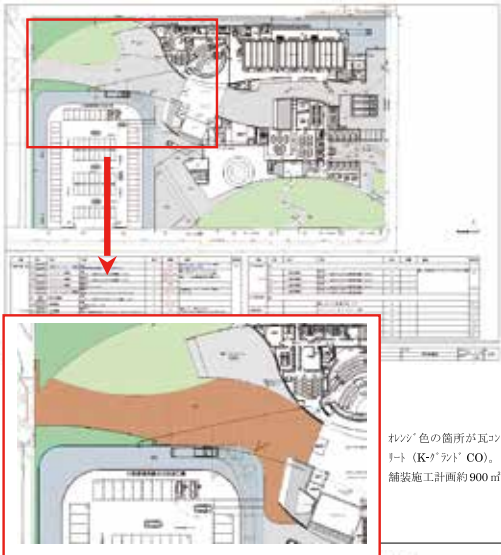
4 避難誘導システム



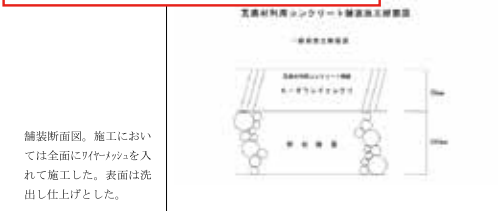
5 気象情報システム



NO.14 避難誘導システム



オレンジ色の箇所が瓦コンクリート (K-ランド CO)。舗装施工計画約 900㎡。

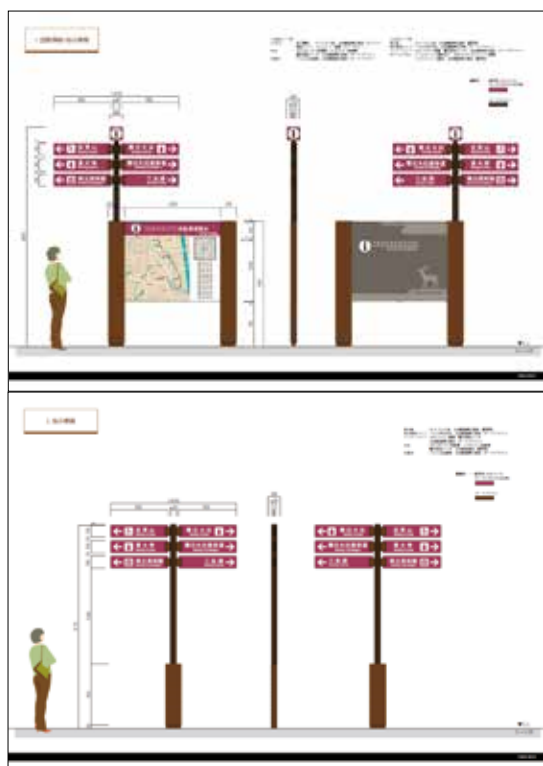


舗装断面図。施工においては全面にクレーンを入れて施工した。表面は洗出し仕上げとした。



NO.21 瓦舗装材 瓦コンクリート@サイエンスヒルズこまつ

※タイトルの「NO.」は応募番号



NO.22 奈良県 奈良公園 観光案内板



関西外国語大学



NO.26 Float Floor system

空間賞

■影絵デッキより煉瓦倉庫を望む



暗すぎる既存足元灯の外照は致し、内部にパワーLEDとレンズおよび影絵マスクを装着しリリース。大掛かりな費用をかけず、そぞろ歩き喜びのあるデッキ空間へと再生した。手前遠方の港南中心部からの視認性を高めるため、煉瓦倉庫は地中からLEDパッドライトでライトアップし、そのシルエットを浮かび上がらせた。

■芝生広場より煉瓦倉庫を望む



にぎわいと楽しさの仕掛けとして、デッキ部にミストを設置し照明演出を行った。滞留の無かったこのエリアに、現在では日常的に子供たちやカメラ愛好者などが滞在している。



■影絵デッキ

本計画の目的である「にぎわい創出」のための仕掛け

子供たちの滞留する姿などがほしかった本エリアであるが、現在では、影絵と遊ぶ多くの子供の姿、影絵を伝って煉瓦倉庫までそぞろ歩くカップルや若者グループの姿を見ることが出来る。



■エントランス広場
「にぎわい創出」のための「おもてなしのあかり」

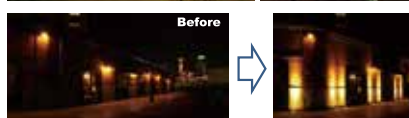
現在神戸では、本計画と同様に「ライトアップデー」を設定し、官民共に夜間景観整備に力を入れている。

この広場には、カラーLEDのオリジナル照明を設置し、季節の歳時記に合わせて変化させる。すべての色光は、深い色彩で、神戸の花の名がついたカラー設定とした。



■オリジナルのガラスベンチ

滞留にかかせないベンチが皆無であったため、夜間景観整備として光るベンチを設置した。オリジナルのガラスベンチは、「おもてなしカラー」に可変する。(現在は待機敷地が工事中)



NO.16 煉瓦倉庫周辺・夜間景観整備

■天空の駅に停車する列車を望む



1両のディーゼル車両が単線走る三江線。宇部川駅は地上六階の無人駅。陣くまに車両が停車し再び出発する様子は、まさに瀬川鉄道。毎年このイベントで最高乗車人数の記録を更新中。2012年には、65000本の光ファイバーを使って5000株の光の稲穂を制作。400mmピッチの特注ストリングス光源に装着した稲穂を1本ずつ田植えのように設置。手作りではなければ不可能な、大観覧が広がった。

■静かなイルミネーション



遙黒の拝啓を持つ谷筋の集落山に囲まれた棚田の谷では青葉が真っ暗なのでわずかなあかりが照立つ。電線はすべて付近の住宅からドラムで引いており、住民が持ち寄るドラムリールの数は80台を超える。その取り出しの過程もまた静を深める。



■ここならではの光のオブジェ
邑南町にふさわしい動物みんなの投票で1位はイノシシに。

大人のワークショップで金網のボディを製作。それにストリングスを巻くつくりなのは、各地区の子供クラブ。当日に落ち葉を採んで完成。30頭が毎年開券。



■竹ドーム
運ぶのは6人がかり
収納場所は空いてる畑

人生のベテランばかりのワークショップでは、農業をはじめとする農地のノウハウが、すべての制作あかりで溢れ、そのスピードと精度に感嘆。



■点滅ナン
楽しさはアリ

様々なあかりのアイテムは宇部川地区と邑南町の人々で制作。INAKAならではの静かなあかりなので人がエンターテインメントの役目を担います。



NO.17 INAKA イルミ@おおなん 2013 (2010,2011,2012)

※タイトルの「NO.」は応募番号



脇谷水門北上川側(上写真)
脇谷水門ゲート操作機械室詳細
(中写真)
脇谷水門ゲート引き上げ部詳細
(下写真)



鴨波水門北上川側(上写真)
鴨波水門旧北上川(中写真)
鴨波水門ライジングセクター部詳細
(下写真)



NO.20 旧北上分流施設群 (脇谷水門、鴨波水門)

全景↓



ハス越しの駅舎→



→バスシェルター越しの駅舎



駅西広場から広回交差点方面→



夜景①↓



夜景②↓



NO.24 金沢駅西広場

ブロック賞



- ・阿波しらさぎ大橋は徳島県吉野川の downstream、河口付近に新設された橋梁である。計画時課題となったのが漁業に対する照明問題と、風対策であった。
- ・一般的にこのような橋梁では道路用照明が用いられる。このとき、灯具位置が高くなるため、道路上だけでなく、道路外、橋梁外にも光が漏れることとなる。これは「光害」と言われ問題視されている。本架橋地では漁業が盛んにおこなわれており、この「光害」への対策が強く求められていた。
- ・また、大きな川の河口ということもあり風対策も問題視されていた。橋梁側面に吹き付ける風は、桁を揺らすだけでなく、走行車両にも影響を及ぼす。
- ・ここでは歩道側に設けられた高欄に導流板とそのトップレールにLED照明を内蔵し、高欄のみで上記2点の問題を解決を目指した。
- ・高欄トップレールから10度の角度で取り付けられた導流板はアルミハニカムパネルを使用し、部材自体を軽量化することで、高欄にかかる負荷をできる限り小さくする工夫を施している。
- ・さらに、歩車道境界車再用防護欄にも防風板を取り付け、歩行者への配慮もおこなっている。
- ・LED照明についても電力小さなスペースで収まるよう、アルミ押出型材を用い機能性、施工性を満たす新たな形状を作成した。



NO.11 阿波しらさぎ大橋（徳島東環状大橋）導流板



写真1：調整池の水面上に張り出して建つ地域住民集会所



写真3：外壁と開口部のディテール



写真2：水面上に張り出す集会所の外壁デザイン



写真4：住宅地のまちなみに参加する水面上の集会所

NO.03 やまびこの家（目神山地域住民集会所）

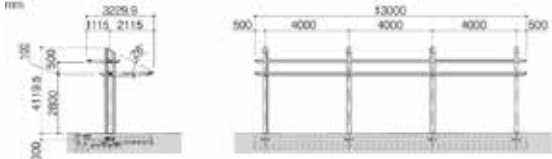
※タイトルの「NO.」は応募番号



NO.09 横断防止柵およびサポーター [越谷型]

特別賞

■詳細図



■提案バス図

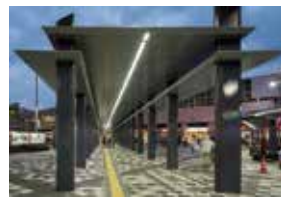


■製品概要

■製品の概要
 全長が13m、柱ピッチ4mの2段屋根タイプのバスシェルターです。バス用の屋根は高さ3.4mに、歩行者用の屋根は高さ2.8mに設定しています。
 屋根部分はシルバー色に、柱部分は濃グレーを配色したことで、柱の重量感が増し、屋根の軽快さが際立っています。スタイリッシュに仕上がったバスシェルターが空間に溶け込み、先進的なイメージを与えています。



他にも、部材に汎用性を持たせることで、豊富なバリエーションが可能です。上吊りタイプや両支持タイプなど、バスシェルターに限らず様々な用途にお使い頂けます。複数タイプを組み合わせて、空間をコーディネートすることができます。



NO.10 シェルター [越谷型]



NO.19 TOKYOLIGHTS Four S For S

※タイトルの「NO.」は応募番号



新潟駅南口の再開発事業である。ここで評価できる点は、開発エリアはそれぞれに広く、ダイナミックな空間とすることが可能であったと思われるが、駅舎は再開発の状況をほぼそのままに用いた点にある。通常、駅前再開発は新施設と旧施設のギャップが大きく、かえって空間的バランスを損ねることが多いが、本件では新施設屋根と階段、色調等が過度に目を引くように計画されているため、堂々とした駅前空間に仕上がっている。



NO.13 新潟駅南口駅前広場

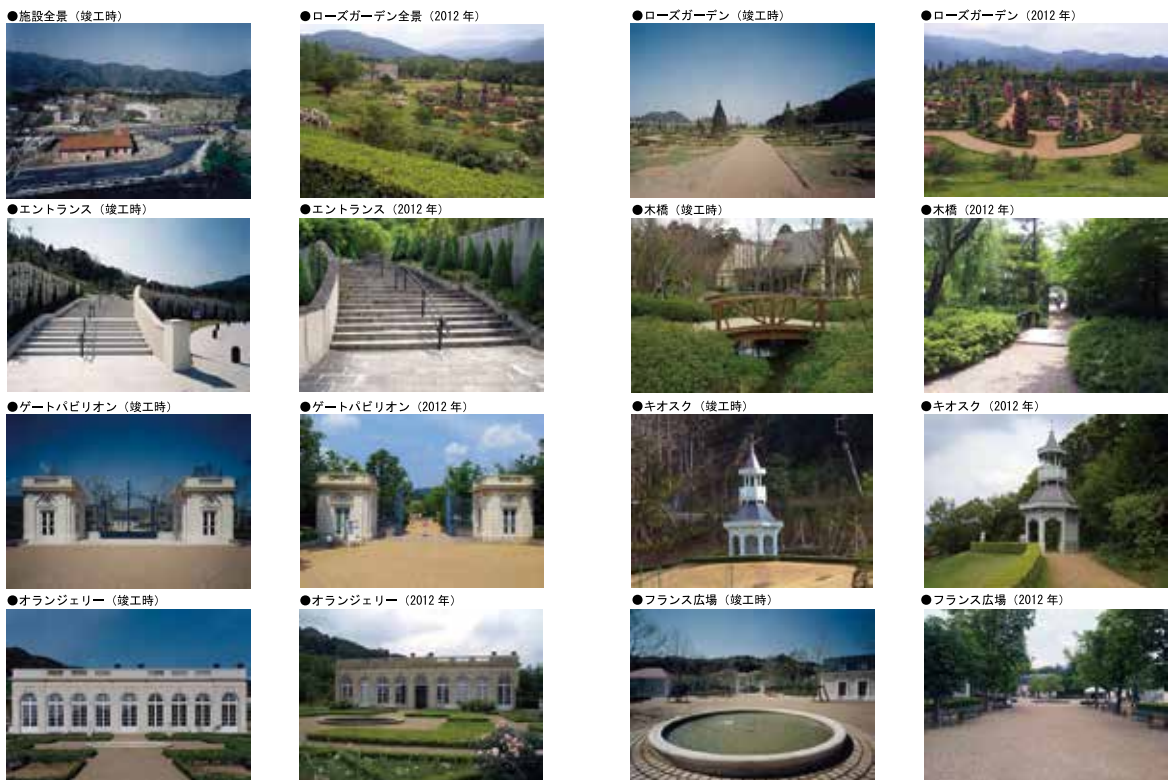


NO.23 近鉄菖蒲池駅 駅前広場 シェルター・サイン

グッドエイジング賞



NO.05 唐木田ガーデンロード



NO.06 河津バガテル公園

※タイトルの「NO.」は応募番号



第2回 JUDI パブリックデザイン賞 作品募集



第1回 JUDI パブリックデザイン賞受賞作品 (抜粋)

表彰対象

都市環境デザインやパブリックデザインの質の向上に寄与した製品や空間を、JUDI 都市環境デザイン会議が、第2回 JUDI パブリックデザイン賞として表彰いたします。自薦、他薦を問わず、どなたでも応募できます。

■舗装、照明、柵、緑化、ストリートファニチャー等の製品
(既製品、標準品、特注品等幅広く対象とします)

■公共空間、歩車道、ポケットパーク、施設内空地等の空間

※なお、表彰の対象は実際に施工事例があるものとします。

JUDI パブリックデザイン賞

大賞 製品部門、空間部門

製品賞

空間賞

ブロック賞

特別賞

グッドエイジング賞

応募方法

応募書類をダウンロードし必要事項をご記入の上、下記の宛先に郵送して下さい。

■ダウンロード先 URL : <http://www.judi.gr.jp/>

■郵送先 〒114-0012

東京都北区田端新町 3-14-6 都市環境デザイン会議

第2回 JUDI パブリックデザイン賞 募集係

受付期間

平成26年4月1日～平成26年7月31日(当日消印有効)

結果発表

平成26年9月(予定)

表彰式

平成26年10月18日(土)(予定)

(2014年都市環境デザインモニターメッセにて表彰式を行う予定)

賞品

賞状及び記念品

主催

JUDI 都市環境デザイン会議 事業委員会

お問い合わせ : TEL 03-6240-8827 E-mail postmaster@judi.gr.jp

後援(予定) :

国土交通省

(公財)都市づくりパブリックデザインセンター

NPO 法人 景観デザイン支援機構